

の喜び方は大変なもので、自由画帳にも沢山書いてありました。日に日に生成していく姿を見て、隣の雞小屋の「ひな」の方がその割に大きくならない事を心配したりしていました。

色々の物を育てる気持は本当に尊いと思います。「花を折るな」と言う前に、自分で花を育てさせることだと思います。自分で種子をまき、或は球根を埋めさせた花が咲いた時、非常に喜びますが、決してこれをむしり取つては来ません。

絵がよく書けるとか、数がいくつまで数えられる様にならうとか、メンタルテストがどうの、と表面的な力を兎角問題にする前に、私達はもつともと大事な事を忘れていないでしょうか、子供の心に深く根ざしていくものの、人間としてのうれしい、人間としての性格のもとを作る、事を第一にしないでいつそれが出来るでしょうか。毎日の忙しさにまぎれて根本問題がすれていかないか、そんな事をいつも考えさせられます。

(番町幼稚園長)

## 新設幼稚園七ヶ月を顧みて

と  
い  
田  
豊

つぶりにおどつていた。聞けば○○幼稚園児という事であった。あの時のバス待つ時間の長い停留所の淋しさ、幼児の大人びた、表情たつぶりの遊戯が今も尚印象に残る。

### ○地域をみつめて

五月一日付発令、五月六日開園。廿年間奉職した千代田区にあって、うかつにも想像だにしなかつた急変した環境の中に立つて最初に浮んだ決意は「地域とじっくり取組んで行こう」という事だった。園児の生活の場の実態を知ることが何より必要であり、急務であること強く考えさせられ、日々の保育と並行して職員が全力をあげて家庭の実態調査を行つた。調査の結果は、この土地は代々の農家で今は地主として勢力のある家庭と、

・戦時中工員となり今も工員生活をするもの及び自家小工場を営むもの。  
・戦災で他から転入、附近の会社或は小工場に勤務するもの、引揚者等々様々であつて大部分は父母の教育程度も家庭の経済状態も高くない。この家庭環境に育つた子供達は入園と同時にあるがままのあらげずりの生活様

相を表わし始めた。幼児に目立つ傾向として動作が粗暴である（喧嘩も直接的である）・言葉遣いは特に悪い。

・野卑な流行歌を唄うものが多い。

・すなおでない（無口、無表情の子が多い）

・特に衛生観念に乏しい等があげられる。

尙家庭に於ける日常の生活指導がほとんど出来ていないらしく思われた。

家庭生活が子供の日常生活の全体に及ぼす影響の大きい事は今更云うまでもないが、入園当時は驚かされることばかりだった。私は

この家庭、この子供を見つめて実践目標とし

て、  
一、衛生的習慣づけと、  
二、情操教育による豊かな感情の育成  
の二項を特に重視して掲げることにした。

幸いに、松江幼稚園の設立促進の一因をなした保健所の土地無償提供の趣旨が「健康管理」の下に幼児教育を推進し、子供を通じて家庭生活まで保健衛生思想を普及したい」とことによつたので、目標の一に於いては年間計画の打合せから、父兄指導に対する協力、園児の

健健康指導等……保健所及び区当局の極めて深い理解と指導協力が得られた。大変幸福なことである。第二の点に就いては空地を堀り起し、緑りを植え、草花の栽培をし、動植物の飼育、更に音楽的雰囲気をつくる等の環境の整備によって、すさんだ感情をすなおに仕向けるように教師全員で努力を試みた。

一方父兄指導の必要を痛感し、父母の会の結成を急いだ。以下半才余の園の姿を観察日記から拾つて見ることにする。  
○日記のところどころ

……・放尿する子、（五月〇日）……  
「先生大変だよ庭でしょんべんしているよ」の注進に「またか」と思つて駆けつけてみると、職員が幾日もかかつて丹精した美しい花壇に向つて明、正、武君の三人が誰はばからず立小便をしていた。見ていた私に気が付くと一目散に逃げてしまつた。どうして毎日ところかまわらず放尿することが繰返されるだろうか、昨日も静まり返つた屋食の時バタバタ廊下を走る音玄関飛び出した様子に、書物をしていた私は「何事が」と耳を傾けた。と「ジャ」…という窓下の異音、驚いた菊の葉に何等のためらいも無くジャアとある時も「今度はきっと便所にいくよ」て約束しゲンマンましたのに、直ぐ目の前の民家からおじいさんがお茶を手に笑いながらこの様を見ているのに平気なもの、いつにならたら止むだろうか、この地域の悪習。帰宅の時男児全部に「おしつこは便所にするのよ、僕たち犬や猫ではありませんからね。お花にかけると枯れてしまうんですって」と云えば「うんそだよ」と光夫君同意「光ちゃんだうてやつたじやねえかよ」と明君すごい文句「うそだよ、おれはね、門の外のドアにするんだよ」放尿する習慣はなかなかおらないのか根気よく教えるより術はない。

……・よごれても平気な子（六月〇日）：朝顔を洗わない子が目立つ、T君は特別だ、今日も鏡の前に連れて行つて昨日のよれらしい口の周りの不潔を見せても割合に平氣である。「きのうお風呂に行かなかつたの」と聞けば「三つ位いかない」とのこと、手足

のよごれが目立つ。水道に連れて行つて石鹼

で洗わせる。「あくきれいになつた、気持が

いいでしよう?」と云えば「きたなくつて

氣持悪くないさ」といたづら気持で云つた

が、本心か、一寸理解しにくい態度である。

不潔なところに恐ろしい病菌のあることを論す。何時もきたなく長く伸びていたC子の爪、も毎週の月曜日に爪の検査を続けたので此頃では母親の手で短かくきれいに切られてい

る。が頭髪のよごれには母親も気づかぬらしい。

此頃の蒸し暑さで汗ばんで来るとブーンと懸念を放つ、母親を呼んで注意する。人の善さぞうな母親は飾氣のない言葉で家庭の内情や、仕事に追われる毎日の生活振りまで話し出す。教師の好意に何度も御礼をいゝながら帰つて行く、やはり直接話したことがよかつた。入園当初は家庭でも色々心を配つて與れたが長続きはしない。屢々母親に会つて、話し合いの中に母親指導に留意しなければならない。

## ○水遊び場が出来るまで

六月〇日 雨の止み間を飛び出しては、

砂場に水道に走る、今日もH君、K君が砂場

で大泣だ、原因は砂場に群がる友達で思う存

分遊べないということからだ。私の赴任以来

懸念していた事だった、なんとか砂場は大き

くならないかしら?

六月〇日 竹垣の上に干した濡れ上衣が

日々に数を増す。夏なればこそ水の魅力に負

かされる。水道の蛇口に指を当て、水しぶき

を散らしている清君は頭からずぶぬれだ。多

分下着までぬれでいるであろうのに気にも止

めていない。此の児は危険な江戸川や不潔な

水溜りで水遊びするとの事、近づく暑気に苦

労の種が又一つ増す。水遊び場設置の件を胸

に描く。

六月〇日 水遊び場設置の件を当局に請願。予期した通りはねられる「予算が無い、

小学校ですらプールを持たぬ処がある現状

だ」と。

六月〇日 父兄会の席上、半ば諦めな

がらも夏休み中の特別生活指導計画を添えて

プールの設置の件を持出す。一同賛成。其場

で実行委員会が結成された。感謝の気持で一

杯だ。

七月〇日 縦廿尺、横十二尺、の溝えら

れたきれいな水、園児の日は輝く、思わず目

頭が熱くなる。こんなにも早く父兄だけの力

で実を結ぼうとは思わなかつた。今日は嬉し

いプール開きである。清新らしい水音の嬉し

そうな顔がプールを取りまく、見学の母親の

母と一緒に……この夏も軽さを忘れて遊べることだろう。

九月〇日 公衆衛生の立場から野犬は捕

獲しなければならない保健所の指令も理解出

来るが、収容箱の中で吠続ける声に胸をしめつけられる。「狂犬になるといけないから捕

える」と話しても駄目、いつか身体検査の帰

りにつながれた小犬の縄を解いてやつた正君

の氣持は責められない。幼稚園で動物を飼育

し、草花を栽培して情操教育を力説している

のに……この善処方を意を決して何度か御願

してあるが何時になつたらすつきりした気持になれるだらう。

十二月〇日 今週一杯は犬の声も姿もない。どうしたことだろう、収容所を他の支所に遷して呉れたのか、兎角うれしい限りである。たゞ頭が下る。

十二月〇日 「大変落着いていますね、

こうした環境の中で育つ松江の子供は幸です」と参觀人の言葉、確かに入園当初とは遊びの様相が變って來た。「おれ、おまえ、てめえ、あたい」の言葉も一応、「僕」あたしと云うようになり、乱暴な行動もみられなくなつた。十月に就学前の歯科診療をしたとき歯科医師から「口腔衛生は実によく出来ている」と賞讃の言葉をいたづいたのも毎日の衛生指導の習慣の表われである。今日までと同じような努力がこれからも続く。(十二月九日記)

(江戸川区立松江幼稚園長)

32頁より 自分の帽子かけの前に板がおいてあつたので、どうしてよいかわからぬといつて泣く。以上のように、非常に単純な事でも、平常と一寸変化のある条件では、おろおろして泣く。一学期は比較的この様な危機的

場面に追い込まれぬよう教師も、友達も助力する。泣いている時は、そのままだめず本人の努力で解決させるように仕向ける。そして時には強く叱り、友達の協力に甘んじる態度を警戒する。

このようないい扱いの中で、当然、家族たちの(特に母親の)Tへの扱い方で連絡をとりつ

つ、家庭でも自立するように働きかけてもらつた。そして七月には家族から全く離れて、四泊五日の合宿保育に参加させることができた。そして彼は、合宿生活で更に自信を持ち、誇りを抱く程になった。

(白金幼稚園)

☆新刊☆

## 29年度 研究集録

長い間お待ちいただいた本年度の研究集録が出来ました。本書は去る六月二、三、四の三日間の、教育実際指導研究協議会における講演研究発表、実際指導、研究討議会などの、幼稚園関係のものを全部集録したものでございます。

御入用の方は、実費送料共一部 120円を添えて下記へお申し込み下さい。

東京都文京区 大塚町三五  
お茶の水女子大学附属幼稚園内  
幼児教育研究会

昭和29年12月

お茶の水女子大学附属幼稚園内

幼児教育研究会